

白布ヶ丘だより

9月

…学校と家庭・地域の架け橋…

発行 栃木県立真岡高等学校

〒321-4331 栃木県真岡市白布ヶ丘24番地1

TEL 0285-82-3413 FAX 0285-82-2913

猛暑の夏休みが終り、2学期がスタートしました。といっても、7月21日～29日は前期課外、8月19日～27日までが後期課外、加えて部活動などで登校日が多かったようですが、生徒諸君は夏休みを有効に活用できたと信じています。

さて、8月は旧暦では「葉月(はづき)」と呼ばれ、語源には諸説ありますが木の葉が落ちる月「葉落ち月」から来たとするのが有力です。また、9月は「長月(ながつき)」と呼ばれ、語源は「夜長月」から来たというのが有力です。ちなみに、旧暦では7、8、9月が秋ですから、葉が落ちたり、夜が長かったりするわけです。秋といえば、「読書の秋」「スポーツの秋」等と言われるように、学習するにも部活動をするにも快適な季節となります。文武両道を重点目標として掲げる真高生にとっては大いに活躍が期待される秋(とき)です。

「猛暑何するものぞ！ 2学期始業式」

8月30日、猛暑に勝る生徒の熱気に包まれて2学期始業式が行われました。上岡校長から、『本校の特色は夏季休業中であっても多くの生徒が登校し学習や部活に励む活気のあるところである。実りの秋にふさわしく「焦らず」「怯えず」「諦めず」努力し続けて栄冠を勝ち得てほしい。また、韓国併合100周年にあたる年でもあり、歴史を踏まえ日韓両国の発展と平和について大所高所から考えて欲しい。』等々の講話がありました。

始業式の後、生徒会役員任命式、日下田同窓会会長臨席のもと野澤賞授与式、東関東大会出場の吹奏楽部の壮行会が行われました。午後には、野澤賞受賞者による進学講演会及び座談会が開かれ、生徒たちは熱心に聞き入っていました。

「一日体験学習」に499名が参加



中学生を対象とした「一日体験学習」が、8月20日(金)に開催されました。

今年も県内外の中学校から生徒364名、保護者118名、先生方17名の合計499名の参加がありました。

当日は校長先生の挨拶の後、担当の職員から資料を用いて、本校の概要や学習・進路に関する説明があり、参加した中学生は真剣に聞き入っていました。

本校生徒会役員によるプロジェクターを用いたの部活動等の高校生活の紹介では、緊張もとれて笑顔も見られました。その後、生徒会役員が校舎等を案内し課外授業や記念館等の見学が行われました。特に、記念館では歴史ある品々に興味深く見入っていました。

最後に、応援団による歓迎エール、ジャグリング同好会の演技、吹奏楽部の演奏があり、真岡高校文化の一端に触れて終了となりました。

一日体験学習の後実施したアンケートでも、殆どの参加者が「学校の教育上の特色や内容がよく理解できた」「大変参考になった」と答えていました。

8、9月の行事予定

- 8月
30日(月) 始業式、生徒会役員任命式、野澤賞授与式、職員会議
31日(火) 1、2年課題テスト
- 9月
4日(土) 全統高模試(1、2年)
全統記述模試(3年)
8日(水) 校外模試分析会
9日(木) 第3回進路希望調査
センター試験出願事前指導
13日(月)、14日(火) 第3回校内模試
15日(水)～27日(月) 面接強化週間
17日(金) 野澤一郎育英会杯「ツ」優秀選手表彰者選考会
東京圏同窓会総会
18日(土) 進研マーク模試(3年)
22日(水) 第32回合唱コンクール
(真岡市民会館大ホール)
25日(土) 物部同窓会支部総会
29日(水)～10/1 中間テスト(2年)
30日(木) 1年進学講演会

合唱コンクールについて

9月22日(水)真岡市民会館で実施される合唱コンクールは保護者の方にも入場のご案内を差し上げています。

生徒たちが練習に練習を重ねた男声合唱の素晴らしさを是非お楽しみください。

しかし、座席数に限りがあるため、入場をお断りする場合もございます。入場を希望される場合は、なるべく早めにお申し込みください。

平日課外 9 / 1, 3, 8, 10,
土曜開放 9 / 4, ⑪, ⑳ (○囲みはサタデーセブナも同時実施)

《生徒会新役員決まる》

平成22年9月～平成23年8月までの生徒会の新しい執行部が決まりました。

「真高ルネサンス」を合い言葉に、真高生を団結させ、生徒会活動をより充実したものにしていくものと確信しています。また、今期は2年に一度実施される白布祭など、生徒会が関係する行事がたくさんあります。新役員の方々の活躍を期待しています。

また、坂本会長をはじめ旧役員の方々の大変ご苦労さまでした。

生徒会新役員

会長	片岡	洋登	(2-6)
副会長	津村	拓都	(2-1)
書記	大塚	卓也	(1-5)
書記	細島	耕史	(2-2)
書記	貝賀	裕考	(1-6)
会計	苅部	宏輝	(2-5)
会計	梅野	隆一	(1-1)
会計	高橋	昌弘	(1-4)
監査	堀田	嵩洋	(2-5)
監査	坂井	紘展	(1-2)
監査	岡田	悠吾	(1-3)
議長	竹前	直	(2-2)
副議長	枝川	拓也	(1-2)

新生徒会長になって

…… 片岡 洋登 ……

111年という長い歴史が作り上げた伝統のもと、代々受け継がれてきたこの素晴らしき真岡高校の生徒会長職を務めさせていただくことになり、心から光栄に思います。

前坂本会長のもと副会長として1年間生徒会活動を行ってきた中で、数多くの貴重な経験をさせていただきました。その中には学ぶべきことが沢山あり、それらを改善してより良いものにしていこうと思います。今期の生徒会は私を中心とした生徒会というより、生徒会役員一人一人が自覚と責任をもって全員でより良い生徒会活動を行える組織でありたいと考えています。今期は真高最大の行事で

ある白布祭があります。私はこの白布祭を単に成功させるだけでなく、生徒一人一人の心に残る白布祭にしたいと考えています。白布祭の成功の前には様々な問題が立ちますが、私たちが真高生ならば乗り越えられると信じています。また、白布祭実行委員会やその他の委員会の協力を得て白布祭という舞台は完成しますが、その舞台の主役は生徒一人一人です。そのために役職や学年を越えたり信頼関係を築き上げていくよう努力してまいります。

最後になりますが、真高を創り上げるのは生徒一人一人です。「真高ルネサンス」のストーリーのもと真高をより良い学校に変えていくなかで、お互いに協力し合うとともに時にはお互いに刺激し合っ共成長していきましよう。生徒会役員もそうした成長の一助となるよう努力していきます。これから一年間役員一同頑張っていきますので、ご指導ご協力よろしくお願い致します。



部活動の大会結果

ソフトテニス部

○全日本ソフトテニス選手権大会

一般男子ダブルス第3位

蒔田 隼也・野口 寛生 組

○中部支部高校新人ソフトテニス新人大会

男子ダブルス優勝

黒崎 俊則・川澄 健司 組

男子団体第3位

放送委員会

○第34回全国高等学校総合文化祭

アナウンス部門文化奨励賞

小森真介

○第57回NHK杯全国高等学校放送コン

テスト校内放送活動研究集会

アナウンス部門入選 小森真介

○第57回NHK杯全国高等学校放送コン

テスト アナウンス部門入選 小森真介

○第57回NHK杯全国高等学校放送コン

テスト アナウンス部門入選 小森真介

吹奏楽部

○第52回栃木県吹奏楽コンクール

A部門 金賞(東関東大会出場)

○第16回東関東吹奏楽コンクール

A部門(55人編成)

期日 平成22年9月4日(土)

会場 宇都宮市文化会館(栃木県宇都宮市)